

**対日理解促進交流プログラム (JENESYS2023)**  
**大学生・大学院生派遣プログラム標準日程案 (オンライン)**



知をつなぐ、世界をつなぐ、未来をつなぐ。  
 JAPAN INTERNATIONAL COOPERATION CENTER

		プログラム	ねらい
<b>プレプログラム (計3日間) 各日2時間～2.5時間</b>			
1回目 8月	2時間～ 2.5時間	初回オリエンテーション JENESYS概要、目的等の説明	JENESYSの概要、目的等を理解し、参加者としての自覚と意欲を高める。
2回目	2時間～ 2.5時間	【講義】派遣国理解・テーマ関連講義	派遣国の政治・経済・外交・歴史・文化等を理解し、日本と相手国の類似点・相違点を考える。各国における日本の位置づけを把握し、以降のプログラムでの交流、「日本の強み・魅力」の発信に役立てる。各プログラムのテーマについて発信できるよう、知識を身につける。
		【講義】独立行政法人国際協力機構 (JICA)	国際社会におけるODAの現場 (技術協カプロジェクト、ボランティアの活動等) を視察し、関係者や現地の人々との交流を通して、先進国としての日本の役割、派遣国支援、国際協力の在り方等について考える。
3回目	2時間～ 2.5時間	【交流】本プログラム交流予定校、来日する招へい者との交流等	本プログラムで交流する派遣国学生と事前交流を行い、効果的な発表ができるよう準備する。派遣国から来日する学生とオンライン又は対面で交流し、派遣国理解の一助とする。
<b>本プログラム (計5日間) 各日2時間～2時間半</b>			
1日目	0.5時間	オリエンテーション 他	JENESYSの概要、目的等を再確認し、参加者としての自覚・意欲を高める
	1時間	【視察】市内視察 【講座】派遣国言語講座	派遣国の人々の暮らしぶりや社会の現状を参加者自身の眼で確かめ、理解を深める。
	1時間	【ホームビジット】	派遣国の家庭訪問を通じて、現地の生活事情を学ぶ。ホストファミリーとの交流を通じて草の根レベルで日本と派遣国との間の信頼関係を築くとともに、日本について紹介し、ホストファミリーや地域の人たちの日本への関心を高めるきっかけをつくる。
2日目	2.5時間	【学校交流】① ・校内見学 ・授業参加 ・日本の魅力紹介プレゼンテーション・実演 ・派遣国学生からの派遣国紹介プレゼンテーション ・派遣国学生とのディスカッション	日本の政治、経済、社会、文化、歴史、外交政策等について紹介プレゼンテーションと実演を行い、現地の同世代の学生が日本を理解し、日本の魅力を体感し、日本への関心を持つきっかけ作りを行う。また、現地の学生からも派遣国についてプレゼンテーションをしてもらい、相互理解を深める。そして、両国の関心事項や今後の展望につき意見交換を行い、友情を育む機会とする。
3日目	2.5時間	【学校交流】② ・校内見学 ・授業参加 ・日本の魅力紹介プレゼンテーション・実演 ・派遣国学生からの派遣国紹介プレゼンテーション ・派遣国学生とのディスカッション	
4日目	1時間	【ワークショップ】	プログラム中の学びを共有し、アクション・プラン (プログラム参加後の活動案) について話し合いを行い、プログラム関係者に報告する内容をまとめる。
5日目	1時間	【報告会】	プログラム中の学び、アクション・プランについて、日本大使館/派遣国政府/現地交流関係者等へ報告する。(実施言語：英語)
	1時間	【交流会】	派遣国関係者とプログラム中の思い出を語らい、プログラム終了後の友好関係の継続を確認する機会とする。

※プログラムの内容・日数等は変更が生じる可能性があります。